

雲南の青銅器時代-考古学の視点から



江川李家山墓地出土銅牛虎案



官渡羊甫頭墓地出土漆木柄銅鉞

日時：2018年5月22日（火）16:30～18:00

場所：愛媛大学メディアセンターメディアホール

講師：劉旭（雲南省文物考古研究所 所長）

雲南省や貴州省は、過去、滇や夜郎といった独自の文化を持った国がありました。また、今でこそベトナムやラオスとの国境がありますが、古代においては東南アジアへの要衝であり回廊でもありました。雲南省における発掘調査では、そうした過去の独自性や周辺との関係性が読み取れる資料が数多く出土し、西南中国の歴史的意義を考えるうえで注目を集めています。そこで今回は、今後の研究パートナーとなる雲南省文物考古研究所から劉旭所長を招聘して、雲南の青銅器時代に関わる最新の考古学調査の成果をご講演いただきます。



劉旭氏プロフィール

1969年生。中国・雲南省文物考古研究所、所長。北京大学考古系卒業。蒙自瓦渣地墓地、魯甸野石山遺跡、香格里拉居日河遺跡など雲南の代表的遺跡の発掘に従事。主な著作に『大理大豊楽』、『蒙自瓦渣地墓発掘報告』、『香格里拉居日河遺址』等がある。

申込不要・入場無料

日本語通訳有

主催：愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター

〒790-8577 松山市文京町3番 HP: <http://www.ccr.ehime-u.ac.jp/aic/>

Tel/Fax: 089-927-8391 Email: kotetsuAIC@gmail.com